

第15回三遠南信地域資料展

「ふるさとの文学―作家とその作品―」を開催しました。

平成24年2月4日（土）～3月4日（日）

三遠南信地域にゆかりのある物故作家14名と、愛着あるふるさとにつながる作品を取り上げ、図書資料を中心にパネルなどによりその一端を紹介しました。

また、2月4日（土）午後1時30分より記念行事「三遠南信を語る会」も開催し、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

記念行事の講師と内容

- ・山田久次さん（東三文化会会長） テーマ「ふるさとの文学」
- ・山下智之さん（文学歴史研究家） テーマ「浜松時代の井上靖」
- ・久保田毅さん（椋鳩十記念館館長） テーマ「椋鳩十 人と作品」

今年で15回目を迎えた「三遠南信地域資料展」ですが、今回は、『ふるさとの文学―作家とその作品―』をテーマとして企画しました。

三遠南信地域とは、主に豊橋市、浜松市、飯田市を中心とする地域を指します。さて皆さん、どんな作家が私たちの地元とつながりがあり、またどのようにつながっているかご存知でしょうか？

実に多くの作家が、意外なところで私たちといるのですが、ここでは物故作家に限定（明治、大正、昭和に活躍）して取り上げてみました。つながっているのですが、ここでは物故作家に限定（明治、大正、昭和に活躍）して取り上げてみました。



今回取り上げた作家たち

三河地方・・・小栗風葉、賀川豊彦、佐々木味津三、丸山薫、大阪圭吉

遠州地方・・・鷹野つぎ、井上靖

南信州地方・・・柳田国男、椋鳩十

その他の主な作家・・・杉浦明平、武田雪夫、筒井敏雄、日夏耿之介、藤枝静男

2階の展示コーナーでは、それぞれの作家についてのパネルと、図書館資料として作家の著書や自筆の原稿、写真などを展示しました。また作家にゆかりのある地域の資料館などから借用した写真や自筆の色紙、貴重な下書き原稿なども展示しました。

椋鳩十は、『大造じいさんとガン』という作品が、小学5年生の国語の教科書にも掲載されており、子どもたちにも馴染みが深い作家です。子どもたちも椋鳩十作品を通して交流できればと考え、三地域の小学5年生に、椋鳩十作品を読んで感想画を描いてもらいました。展示会場の一角にはそのコーナーもあり、来館者をほっと癒やす場所となっています。

開催中、大変多くの市内外の来館者が訪れて展示を熱心に観ておられました。思いがけず自分との接点を見つけ、感動している方もおられたり、懐かしい作品を見つけて感慨深い様子の方もおられました。

これを機会に一人でも多くの方が、文学を身近に感じ、読書の良さ、楽しさに気づいてくだされば幸いです。



寄せられた感想

- ① 椋鳩十がなぜそのペンネームにしたかとか、授業記録とか、作品とか、調べると大変なことがここで一気にわかったので、とても参考になりました。また大造じいさんとガン以外の作品も読んでみたくくなりました。
- ② 作家の一生がよくわかった。いろいろな生き方がよくわかった。苦勞しながら小説を書いていることがわかった。
- ③ 三遠南信にゆかりのある作家がたくさんいることにびっくりしました。それぞれの作家の特徴がわかりやすく展示されていたので知らない作家についてもとても親近感を持つことができました。
- ④ 椋鳩十の本を読んで感動したことがあり、来ました。記念館があることは知らなかったのも、そのうち行きたいと思います。
- ⑤ なつかしい映画のポスター、丈夫アルミの額がいいね。昭和時代がよみがえる。映画の看板を思い出します。色紙も本人の書いたのは実感して新鮮によみがえります。市外（岡崎）
- ⑥ 三遠南信地域に生まれた文化人の業績を一堂に会した結構な催しであつたことに感謝します。しかし、これらの文人の素晴らしい業績が身近に日常感じられないことを懸念します。将来愛知県の西部では三遠南信の言葉さえあまり認知されていません

配布資料 三遠南信地域資料展「ふるさとの文学―作家とその作品―」

目次

三河地方にゆかりの作家たち

小栗風葉	P 1, 2
賀川豊彦	P 3, 4
佐々木味津三	P 5, 6
丸山 薫	P 7, 8
大阪圭吉	P 9, 10

遠州地方にゆかりの作家

鷹野つぎ	P11, 12
井上 靖	P13, 14

南信州にゆかりの作家

柳田国男	P15, 16
椋 鳩十	P17, 18

その他の主な作家たち描かれたふるさと	P19～22
参考資料一覧1	P23
参考資料一覧2	P24